

日本学生支援機構奨学金について

学部生

(修学支援新制度)

給付奨学金 + 授業料等免除

※多子世帯授業料無償化含む

貸与奨学金

(無利子・有利子)

大学院生

貸与奨学金

(無利子・有利子)



国の高等教育の修学支援新制度ってどんな制度？

(制度の概要)

給付奨学金・
授業料等減免は
原則セットで
申請・採用

この新しい制度は、

- ・ 授業料・入学金の免除または減額(授業料等減免)
- ・ 給付型奨学金の支給

の2つの支援により、大学や専門学校などで安心して学んでいた
くものです。



授業料・入学金の
免除/減額



給付型奨学金の
支給

定められた期日までに申し込んだ人であれば、授業料の他に入学金の免除または減額を受けることができます。

出典：文部科学省HP <https://www.mext.go.jp/kyufu/student/daigaku.html>

高等教育の修学支援新制度の概要

対象者の範囲

- ・ 住民税非課税世帯、準ずる世帯の学生
- ・ 多子世帯の学生（授業料全額免除）
- ・ 学部日本人学生等

（※大学院生や学部生で留学ビザの学生は対象外）

- ・ 大学に進学するまでの期間等が高校卒は2浪まで、
高専卒は現役であること

災害、家族や本人の傷病などのやむを得ない事由で入試当日への受験や入学手続き等が困難であった場合、別途申し出てください。

審査基準

- ・ 学業成績に関する基準（学力基準）
- ・ 家計の経済状況に関する基準（家計基準）

高等教育の修学支援新制度の概要

学力基準

【1年次入学者】

高等学校等における評定平均値が3.5以上であること、
または入学者選抜試験の成績が入学者の上位1／2の
範囲に属すること、学修意欲が確認できること 等

【2年次入学者】

G P A等が在学する学部等における上位1／2の範囲
に属すること、修得した単位数が標準単位数以上であ
ること等

卒業要件（130単位）÷修業年限（4年）×在学年数
※小数点切り上げ

災害、傷病等やむを得ない事由により基準に満たない場合は、別途ご相談ください。

高等教育の修学支援新制度の概要

家計基準

- ・住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯の学生
- ・多子世帯の学生 等

【判定方法】

マイナンバーを機構へ提出→最新の住民税情報を確認

★最新の住民税情報：2025年1月～12月の所得

2025年12月31日現在の扶養状況

★「進学資金シミュレーター」でご自身の世帯が基準に該当するか、およその目安として確認することができます。

別紙
「日本学生支援機構
奨学金 確認事項」

高等教育の修学支援新制度の概要

別紙

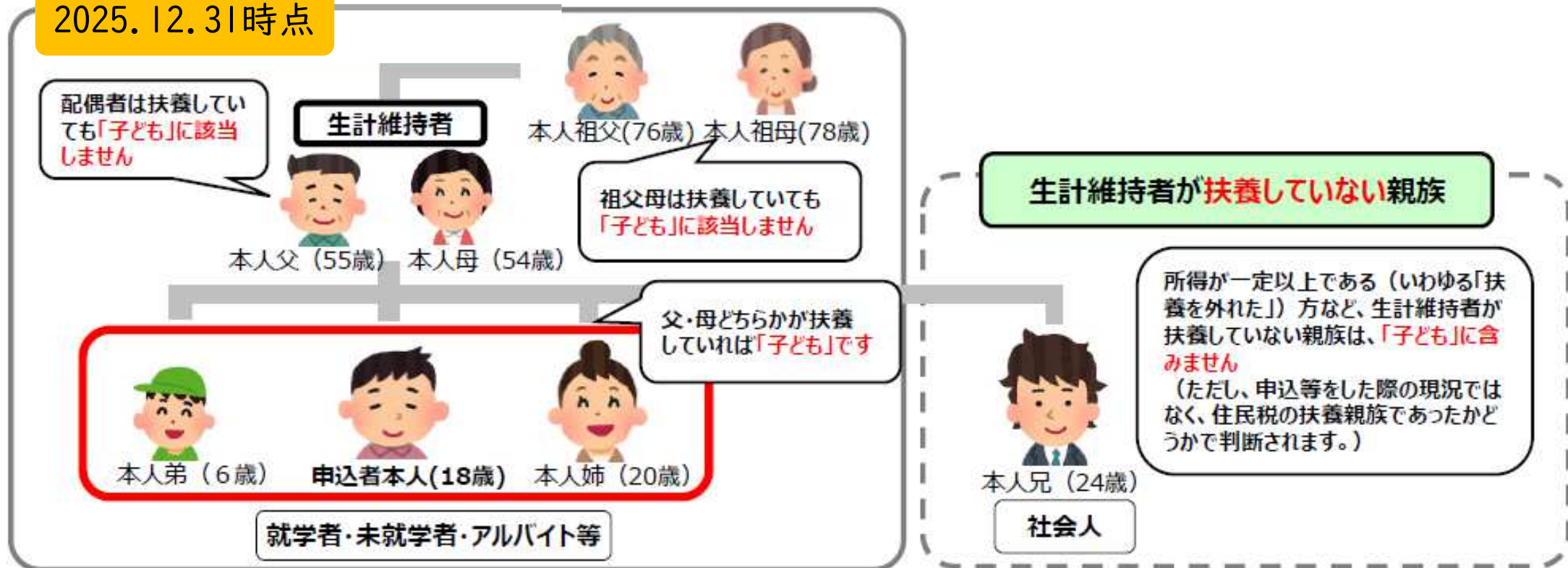
「日本学生支援機構奨学金 確認事項」

多子世帯への支援拡充

<対象者>

生計維持者の扶養する子ども等の人数が3人以上の家庭

2025.12.31時点



<申請によって扶養人数に算入される可能性のある方>

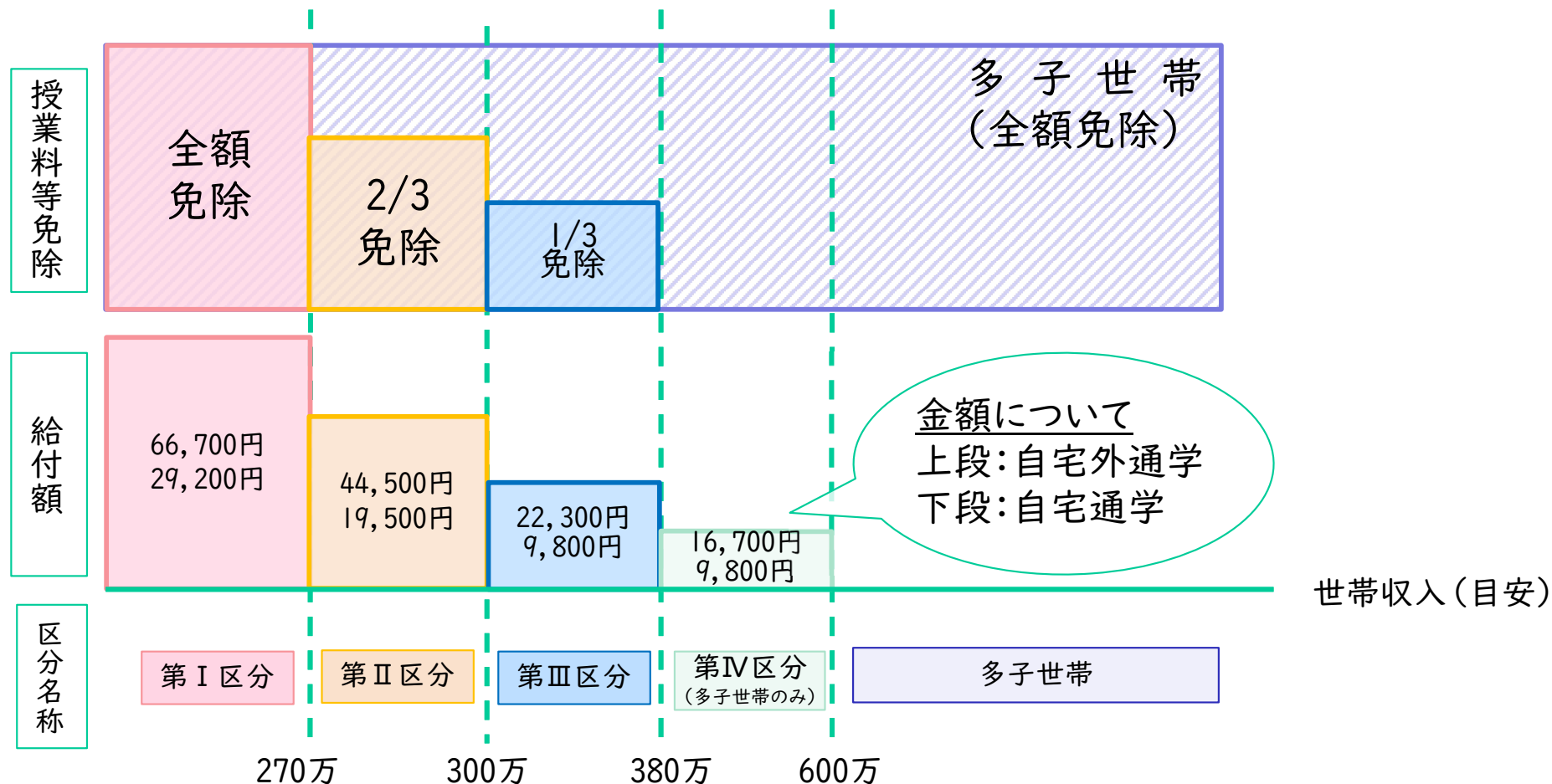
- ・ 2026.1.1～2026.8.31に出生した生計維持者の実子等
- ・ 生年月日が2003.1.2～2007.4.1の者で、かつ合計年間所得が58万円～95万円の者

△「多子世帯」で認定された場合、給付額0円であっても給付奨学生として採用されます

高等教育の修学支援新制度の概要

支援内容

- ・支援を受けられる金額は、世帯収入や通学形態によって異なる



高等教育の修学支援新制度の概要

採用後の手続き

- ・ 支援を継続して受けるためには、奨学生採用後も、いくつもの
手続きを期限内に行うことが必要！

(例) 在籍報告 (毎年4月)

適格認定 (家計)

適格認定 (学業成績等)

期限内の手続きを怠った場合、
奨学金の受給が停止されます



高等教育の修学支援新制度の概要

留意点

- 成績不振の場合は給付奨学金が廃止となる可能性あり
- 特に著しく成績不良の場合、**給付を受けた奨学金及び減免された授業料を返還する必要あり**
- 各種手続きが期日までに行えない場合、**奨学金も授業料免除も受けられなくなります。**



給付奨学金は国費を財源としています。

給付奨学金の支給を受ける方は、給付奨学生としての自覚を持って、学業に励みましょう！

貸与奨学金の概要

対象者の範囲

- ・ 経済的理由により修学に困難があると認められる人

△ただし、申込不可である場合もあり

（例）留年中（正規手続きの休学による同一年再履修は除く）

債務整理中、在留資格が「留学」「家族滞在」等

審査基準

- ・ 学業成績に関する基準（学力基準）
- ・ 家計の経済状況に関する基準（家計基準）

貸与奨学金の概要

- 貸与奨学金は「借りる」奨学金 = 返還義務あり
☆返還されたお金が後輩への奨学金として
巡っていく仕組み



- 無利子のものと有利子のものがある

無利子の奨学金 = 第一種奨学金・授業料後払い制度

有利子の奨学金 = 第二種奨学金

10月入学した
博士前期課程のみ

- 入学時のみ、入学時特別増額貸与奨学金（有利子）も
第一種または第二種と同時に申請可能

貸与奨学金の概要（学部）

貸与月額

種類	通学形態	貸与月額	※最高月額
第一種 （無利子）	自宅	20,000円 30,000円	45,000円
	自宅外	20,000円 30,000円 40,000円	51,000円
第二種 （有利子）	—	20,000円～120,000円 （10,000円単位で選択）	※家計の審査により選択不可となる場合あり！
入学時特別 増額貸与奨 学金	入学時 のみ	100,000円～500,000円 （100,000円単位で選択）	



貸与月額は、申請可能な範囲内で貸与期間中に変更したり、停止することが可能。借りすぎないように気を付けましょう！

貸与奨学金の概要（学部）

別紙
「日本学生支援機構
奨学金 確認事項」

併給調整

給付奨学生と第一種奨学生の両方に採用される場合、
第一種奨学金の貸与月額に制限※がかかります。

※第一種奨学金の希望金額に関わらず、以下の金額となります。

	多子ではない世帯		多子世帯	
	自宅	自宅外	自宅	自宅外
第Ⅰ世帯	0	0	0	0
第Ⅱ世帯	0	0	0	0
第Ⅲ世帯	20,300 (25,000)	13,800	0	0
第Ⅳ世帯 (多子)	－	－	0	0
多子世帯	－	－	300	6,300

貸与奨学金の概要（大学院）

種類	課程	貸与月額
第一種 （無利子）	博士前期	50,000円 88,000円
	博士後期	80,000円 122,000円
生活費奨学金 （無利子）	博士前期	0円（利用しない） 20,000円 40,000円 ★授業料後払い制度利用者のみ利用可能
第二種 （有利子）	博士前期	50,000円 80,000円
	博士後期	100,000円 130,000円 150,000円
入学時特別増額 貸与奨学金 （有利子）	入学時のみ	100,000円～500,000円 （100,000円単位で選択）

詳細は
ダイジェストP.3



貸与月額は、申請可能な範囲内で貸与期間中に変更したり、停止することが可能。借りすぎないように気を付けましょう！

貸与奨学金の保証制度

機関保証

- ・ 毎月の奨学金から保証料を支払い、保証機関に保証を依頼する制度
- ・ 連帯保証人や保証人の選任、各人の書類提出は不要

人的保証

- ・ 機構が定める条件を満たす人に「連帯保証人」「保証人」を引き受けてもらう
- ・ 印鑑登録証明書や収入に関する証明書の提出が必要

貸与奨学金の保証制度（人的保証）

連帯保証人

- ・原則として、父または母。

（父母がいない場合は、おじ・おば等 の4親等以内の親族）

保証人

- ・本人および連帯保証人と別生計であること。
（父母および生計を同一とするきょうだいは不可。）
- ・おじ、おば、就職したきょうだい等、4親等以内の親族
- ・返還誓約書の誓約日時点で65歳未満であること。
- ・未成年、学生、債務整理中でないこと。

★条件に合致する方の選任ができない場合は、機関保証を選択してください

貸与奨学金の概要

留意点

- 貸与奨学金は「借りる」もの（＝借金）であり、
自分自身に返還義務がある
- 学資として本当に必要な金額を選んで申し込む
※むやみに借りすぎない！
- 特に著しく成績不良の場合、奨学金が停止や打ち切りになる
可能性がある
- 「継続願」の必要手続きを怠ると成績にかかわらず奨学金が
打ち切りになる

特に優れた業績による返還免除制度（大学院）

大学院
ダイジェストP.6

- ・ 第一種奨学金（授業料後払い制度を含む）の貸与を受けた学生のみ申請可能
- ・ 第一種奨学金の全額もしくは半額の返還が免除される
- ・ 学内で推薦対象者を選考した後、推薦された者をさらに日本学生支援機構で審査し決定
 - 大学に割り当てられる推薦枠は毎年変動する
 - 大学から推薦されても免除対象にならない可能性もあり
- ・ 例年12月下旬頃に掲示や教務情報システムで周知

特に優れた業績による返還免除制度（大学院）



博士後期課程の方

以下の支援対象となっている場合、返還免除を受けることはできません

①次世代研究者挑戦的研究プログラム（SPRING）

豊橋技術科学大学実践的イノベティブ博士人材育成プログラム（TUT-DC）（旧TUT-DCフェローシップ制度）

②国家戦略分野の若手研究者及び博士後期課程学生の育成事業（BOOST）次世代AI人材育成プログラム（博士後期課程支援）

出願のながれ

別紙
「2026年度奨学金出願
方法について」

①動画、奨学金案内、記入例の確認

各手続き前まで（出願予定の奨学金の概要を熟知すること）

記入例の
確認を
忘れずに！

②スカラネット入力下書き用紙へ下書き

スカラネット入力前まで

③スカラネット、マイナンバー入力

10/15(木) 20:00まで

ID：105012でエラーになる場合は、
10501200を入力してください

④出願書類の提出

10/16(金)まで

⑤奨学金確認書兼地方税同意書の提出

③の手続き完了から1週間以内

⑥採否決定通知配付

12月頃

自宅外通学証明書類、返還誓約書等提出



提出書類

別紙
「2026年度奨学金出願
方法について」

提出書類	学部 (給付)	学部 (貸与)	大学院	備考
スカラネット下書き用紙	◎	◎	◎	期日に遅れた場合、 いかなる理由でも 受付できません！ 
提出書類一覧表	◎	◎	◎	
チェックリスト	◎	◎	◎	
入学料免除, 授業料免除及び 日本学生支援機構奨学金に関 する同意書	◎	-	-	
学修計画書	◎	-	-	
成績証明書	○	○	○	第1年次新入生のみ
その他確認書類	○	○	○	該当者のみ
奨学金確認書兼地方税同意書	◎	◎	◎	直接機構に郵送

出願時の注意点

注意点

- 消えるボールペンは使わない
- 修正テープ・修正液等使わない
→書き損じたら二重線で訂正する
- 学籍番号にはアルファベットをつける「B(M,D)26xxxx」
- 書類作成時には学生課HPの記入例を確認
- わからない点はなるべく早く確認する

※出願メ切を過ぎると受付できません！

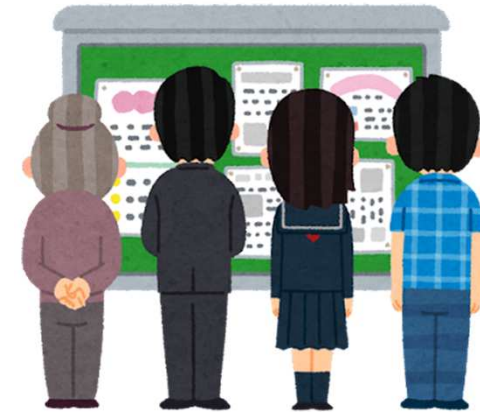
採用後の手続き

奨学金の手続きは、

「A棟学生課掲示板」

教務情報システムの「お知らせ」

を通じて随時ご連絡します。



※特に重要な連絡や至急確認が必要なことについては、
電話やメールをすることもあります。

掲示・メール・電話をこまめに確認するとともに、
連絡先に変更があった場合は教務情報システムにて
忘れずに更新してください。

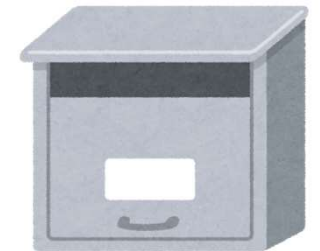
直近で行うべき手続き

出願書類の提出

提出場所：学生課生活支援係

出願に必要な書類を調べて持参してください。

☆提出時には筆記用具も忘れずに！



※質問は、お問い合わせフォームまたは
メール(seikatsu@office.tut.ac.jp)で受け付けます。